

紫峰の風

shihou no kaze

筑波大学 University of Tsukuba

第29号 2023年7月

「紫峰の風」は学生生活の様子や活動の報告を紫峰会基金協力者の皆様にお届けする広報誌で、紙面の企画や記事の取材等は学生広報会議や広報部の学生が実施しています。この名称には「筑波の峰から吹き降りる風に、我々の活動への想いを乗せて、全国の皆さまのもとへお届けする」という意味が込められています。

第47回春季スポーツ・デー



第47代スポーツ・デー学生委員会委員長の渡辺登生です。5月13日、14日に第47回春季スポーツ・デーが開催されました。1日目は途中雨天のため、一部の屋外競技を2日目に延期にしました。幸い、2日目は天気が回復し、全ての競技を実施することができました。今大会は新型コロナウイルス感染対策を最低限にして、コロナ禍以前のスポーツ・デーに戻すことを目標に準備してきました。前年より参加者を増やすことができ、目標を達成できたと思います。これも皆様のご支援のおかげだと思っています。ご協力大変ありがとうございました。

現在スポーツ・デー学生委員会では11月の秋季スポーツ・デーに向けての準備を開始しております。秋季スポーツ・デーはコロナ禍以前の盛り上がりを取り戻していきたいと考えて

いますので、今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。
(寄稿/第47代スポーツ・デー学生委員会委員長 渡辺登生・応用理工学類3年)

今後の主な予定(変更になる場合があります)

春ABCモジュール期末試験	8月3日～8月9日
同(東京キャンパス・夜間)	7月25日、8月2日～8月5日
春学期授業終了	8月9日
同(東京キャンパス・夜間)	7月29日
期末試験予備日	8月10日
(東京キャンパス・夜間)	8月1日、9日、10日
春Cモジュール期末試験	8月10日
夏季休業	8月11日～9月30日
(東京キャンパス・夜間)	8月11日～9月30日
春学期卒業式	9月25日
春学期大学院学位記授与式	9月25日
秋学期入学式	9月29日
秋学期授業開始	10月3日
同(東京キャンパス・夜間)	10月3日
学園祭	11月3日、4日、5日
秋Aモジュール期末試験	11月9日
秋季スポーツ・デー	11月18日、19日

—内容—

スポーツ・デー、宿舍祭、大学歌特集等	1頁
新歓祭本祭、三系合同新歓、学生相談室から等	2頁
スポーツ特集、活動紹介(芸サ連・体育会)	3頁
活動紹介(全代会・文サ連・医学部会)、学生の一週間等	4頁

第49回宿舍祭

新型コロナウイルス感染症の影響で、過去3年間は以前のような祭を開催できませんでしたが、本年度催された第49回筑波大学宿舍祭(通称:やどかり祭)は、天候に恵まれ、前年度の祭よりもさらにパワーアップし、コロナの危機を乗り越えたというにふさわしい祭にすることができました。

コロナ禍の影響を大きく受け、様々な制限がつく中での開催となった前回。本年度はその制限を一切なくし、この半世紀の歴史を刻むやどかり祭を完全復活させる、その一心で実行委員一同、活動して参りました。そこには3年以上行われなかったことによる

弊害や苦勞がありました。当日の出店者や来場者の「楽しい!」という言葉が耳にすることができ、やどかり祭の完全復活という喜びと、50周年となる次回にバトンを繋げられたことの嬉しさを噛み締めています。

この第49回宿舍祭の成功は筑波大学紫峰会基金の援助をはじめ、多くの方々の協力によるおかげだと思っています。本当にありがとうございました。

(寄稿/第49回宿舍祭実行委員会委員長 花岡慶・工学システム学類3年)



企画記事「総合学域群から学類へ 移行した学生の声」

学群・学類の枠を越えて入学者を選抜する「総合選抜」。選抜区分が文系Ⅰ、理系Ⅰ、理系Ⅱ、理系Ⅲの4つに分かれており、入学後は、文系Ⅰが総合Ⅰ類、理系Ⅰが総合Ⅱ類、理系Ⅱ、Ⅲが総合Ⅲ類として編成されます。入学後に学問分野を俯瞰しながら専門を定め、2年次になる際に、体育専門学群を除く全ての学群、学類に移行することができます。

1年次では主に全学生必修の「共通科目」と入門科目の「専門導入科目」を学びます。そして、1年次の履修が終わる2月下旬に自分の志望する学類に志望順位を付けて登録します。

1年次と2年次で所属が変わるため、その生活スタイルや交友関係、勉強法など様々な変化が出てくるのではないのでしょうか。実際に移行先でどうしているか、というテーマで総合学域群だった学生に話を聞いてみました。

総合Ⅰ類から比較文化学類へ

私の移行した比較文化学類はさまざまな学問に触れられるところが魅力です。学類の授業が幅広い学問の内容を扱っている上に、他学類の授業も履修できるのでとても学習が楽しいです。さらに、授業を通して色々な分野に関心のある友人と出会えます。移行する前は、学類生が集まる授業の雰囲気になじめるか、という不安を抱えていました。しかし、比較文化学類全体での交流会や移行生内のホームルームを通して親しい友人を作ることができました。現在は学類の卒業要件となる単位を修得しようと頑張っています。興味のある授業が楽しい一方、他の授業もたくさん履修しなければならず、少し負担に感じます。友人たちと乗り越えていきたいです。

T. Yさん（比較文化学類2年）

総合Ⅱ類から地球学類へ

私は1年次の春学期の途中から地球学類を目指すこと決めました。理由は、地理の授業が興味深かったからです。総合生のときは良い成績を取ることを重視し、試験勉強を重点的に行っていました。しかし、無事に地球学類へ移行できた今は、学問的な楽しさを追求して勉強しています。最近では水文科学という分野に興味を抱きました。図書館を利用して授業で紹介された本を読んだり、関連する論文を読み比べたりしています。2年次から地球学類生となったことについて、人間関係の不安はありません。なぜなら年度始めに移行生を歓迎する様々なイベントが開催されたからです。学生が主催となってジオゲッサーという地図を使ったゲームをしたり、教員の方々が地質巡検を企画してくださったりしたため、友人が増えました。

M. Tさん（地球学類2年）

総合Ⅱ類から応用理工学類へ

私は入学前から化学類を志望していました。しかし、総合学域群で学ぶ中で自分の本当の関心が工学系寄りであると気が付きました。応用理工学類へ移行した今、対面授業が増えた上に専門科目や実験の授業が多くあります。当初は不安に思っていました。きちんとやるべきことをこなせば心配はないとわかりました。勉強計画をきちんと立て、効率よく課題を行えるようにしています。特に、実験を行った後に書くレポートでは、実験の過程を正確に、端的にまとめられるよう意識しています。移行式で同じ学類に進む人たちと顔を合わせ、「移行先でも頑張ろうね」と仲良くなることができました。また、1年次からサークルなどを通して様々な学類の人と仲良くなることを意識していました。その時出会った友人たちのいる学類に移行できたため、現在でも交友関係が続いています。

K. Yさん（応用理工学類2年）

総合Ⅲ類から情報メディア創成学類へ

移行してみても感じたことは「忙しい」ということです。慣れない学類の授業はついていくのに苦労しましたし、コロナが収束し始め、1年の頃よりも対面授業が増えて自分の時間が少なくなりました。移行と授業形態の変更の影響もあって忙しい日々を過ごしています。総合学域群に所属していた時は幅広い分野に触れることを目的に授業を受けていましたが、希望の学類に移行して、その学類の専門的な分野の学問を深めることができ、充実感があります。

情報メディア創成学類は主に春日キャンパスで授業を受けるので、生活範囲も変わりました。また、学類が新しくなったことで交友関係も広がりました。友人とは対面授業で顔を合わせ、授業の合間と一緒に昼ご飯を食べたり、課題を教え合ったりしています。総合学域群にいた時の遅れを取り戻すべく、友人に助けられながら、楽しく大学生活を送っています。

Y. Tさん（情報メディア創成学類2年）

紫峰会基金に寄附してくださった皆様へ

多くのご寄附をいただきありがとうございます。皆様からいただいたご寄附は課外活動団体援助金として使用させていただいております。援助金のおかげで活動にかかる負担が減り、学業や課外活動をより充実させることができました。

現在課外活動は、感染対策等による活動制限がなくなり、コロナ禍前の活気や風景を取り戻しつつあります。厳しい時期を抜け、各団体はさらなる発展を目指してまいりますので、今後も変わらぬご支援をどうぞよろしくお願い致します。

課外活動団体一同

大学の応援歌・学生歌特集

皆さんは、筑波大学メッセージソング「IMAGINE THE FUTURE ～未来を想え」をご存じでしょうか。この曲は、筑波大学開学の理念、また「未来構想大学」としての針路を内外にメッセージとして伝えるため、音楽界で活躍するOBの協力を得て、平成22年に制作されたものです。

新型コロナウイルス感染症流行下となる前の入学式では、歌手のポール・バラード氏を迎え、歓迎の歌としてこの曲が披露されていました。転調を経て明るい未来の広がりと思わせるメロディーと、「Imagine the future, we shall go together」の一節が心を捉えて離さない一曲です。

（文責／広報部会 高見沢仙美・国際マテリアルズイノベーション学位プログラム2年）



入学式でのポール・バラード氏の歌唱の様子 2019年4月8日撮影

IMAGINE THE FUTURE ～未来を想え

作詞 一倉 宏（人文学類OB）
作曲 吉川洋一郎（自然科学類OB）

あの峰に 流れる雲も
二度とない現在(いま)を かたちにして
君はなぜ そして僕らの
ここに来た意味も

君は見たか 未来は振り向き
君は見たか そつと僕らに告げる

Imagine the future
We shall go together
共に生きる 人類(ひと)の未来を 想え
Imagine the future
We shall go together
開かれた その未来を 想え

朝焼けに 星空に描(か)く
果てしない夢を 日々のページに
時間の海 僕らを乗せた
この宙(そら)の船は

変わる時代 変わるすべてに
変わらずある それは生命(いのち)の重さ

Imagine the future
We shall go together
続いてゆく 地球(ほし)の未来へ いこう

Imagine the future
We shall go together
開かれた その未来へ いこう

国境も そして言葉も
越える翼あれ その肩には
君はゆけ ひとりではない
いつの日も 友よ

君は見たか 未来の瞳を
君は見たか そこに僕らが映る

Imagine the future
We shall go together
共に生きる 人類(ひと)の未来を 想え

Imagine the future
We shall go together
開かれた その未来を 想え

Imagine the future
We shall go together
続いてゆく 地球(ほし)の未来へ いこう

Imagine the future
We shall go together
開かれた その未来へ いこう

筑波大学ホームページ 大学案内参照
<https://www.tsukuba.ac.jp/about/public-branding/messagesong/>

2023年度新入生歓迎祭本祭

4月8日、2023年度新入生歓迎祭本祭が開催されました。

新入生歓迎祭本祭とは新入生に向けて筑波大学の100以上の学生団体が屋外ブースや第一エリアの教室、特設ステージを用いて新歓活動を行うイベントです。依然としてコロナ禍ではありましたが、対面開催のもとで昨年度以上の団体が参加し、当日は新入生と在学生合わせておおよそ3,000人の学生に参加いただきました。

午後から雨天となってしまい、一部企画を中止せざるを得なく

なりましたが、コロナ禍以前に行われていたピラ配りを今年度より再開することができたこともあり、盛況を博していたように思います。しかしながら、課題もまだまだあるため、来年度の新入生歓迎祭本祭がより良くなるよう努めていく所存です。

最後に本年度新入生歓迎祭を開催するにあたり筑波大学紫峰会基金をはじめ、ご支援いただきました皆様に深く感謝申し上げます。

(寄稿/新入生歓迎祭推進委員会副委員長 河野美羽・人文学類3年)



新歓チラシ掲載ボード



ミュージカル集団ESSASSA衣装展示



劇団系サークル



歌留多部の実戦を見学する新入生



チラシ配りの様子



ときめき太鼓塾パフォーマンス



医学ヨット部による展示



1C棟前の賑わい

三系合同新歓

体育会

4月10、11日の2日間に分けて、体育・芸術福利厚生棟の1階にて体育会合同新歓を開催しました。

新型コロナウイルスの感染拡大によってオンラインで開催された昨年とは異なり、体育会・医学部会の合計39団体が対面で新入生と交流しました。どのような部活なのか、勉強との両立はどのようにしているのかなど、新入生がこれから筑波大学で生活を送っていく際の参考になる機会を用意することができたのではないかと考えています。

開催にあたり分からないことも多く何度も変更がありましたが、参加団体の皆様のご協力により当日は特に大きな問題もなくスムーズに運営することができました。

今後とも体育会をよろしくお願いたします。

(寄稿/体育会執行委員会企画局長 白戸俊裕・社会工学類2年)



体育会合同新歓の賑わい

芸術系サークル連合会

4月15日、体育芸術エリア5C棟にて芸術系サークル合同新歓を実施しました。芸術系サークル連合会に所属する24組の団体が参加してくださいました。どの団体も新入生に活動を知ってもらおうとそれぞれの特色をいかした企画を行い、生憎の悪天の影響もあって来場者数が130人という状況ではありましたが、来てくれた新入生に充分楽しんでもらえる新歓を行えたのではないかと考えています。

コロナ禍では対面での実施が難しく、本年度が久々の対面開催となった芸術系サークル合同新歓でしたが、運営委員や各団体のご協力のおかげで無事に実施することができました。至らぬ点もございましたが来年度以降の新歓にいかしていけたらと思います。

(寄稿/芸術系サークル連合会企画局長 井川涼介・工学システム学類2年)



芸術系サークル合同新歓での展示

文化系サークル連合会

三系による新歓祭とは別に、文サ連だけの合同新歓を5月14日(日)に行いました。4月で入るサークルを決めきれなかった新入生に向け、文化系のサークルを知ってもらう機会をつくれればと思い、5月に開催することにしました。まだ新歓に苦戦している団体もあったこと、コロナ禍以前の活動のノウハウが全くない現在の文サ連として、経験を積んでおきたかったという側面もありました。場所は文化系サークル館で行い、13の団体が参加しました。しかし、着手が遅く、課題が多く残ったので、来年度以降はこの反省を踏まえ、新歓の在り方について考えていこうと思っています。

(寄稿/文化系サークル連合会運営委員長 時長隆乃介・物理学類2年)



文化系サークル連合会のポスター

動き出したキャンパスの中で

人間系助教 慶野 遥香



長く続いたコロナ禍の行動制限も、ようやく一つの区切りを迎えました。この3年間、お子様が不自由な大学生生活、高校生活を送っていることに、心を痛めておられる保護者の方も多かったのではないのでしょうか。休み時間に自転車で移動する大勢の学生たち、学生団体による新歓活動など、賑やかなキャンパスが戻ってきて、嬉しさと安堵の気持ちを抱いています。

学生たちからも、「友達と遊びに行ったり一緒に勉強したり、やっと大学生やってるって感じがする!」という声をよく聞きます。大学内はもちろん、海外との行き来も気兼ねなくできるようになりましたし、学業や課外活動、趣味の活動、多様な学生との交流など、思う存分キャンパスライフを満喫してほしいと願っています。

その一方で、中には動き出したキャンパスに戸惑ったり、息切れを感じる学生もいるようです。「オンライン主体の生活で、親しい友人を作り損ねた」「対面授業で顔を合わせたら、周りはもうグループができていて中に入りづらい」「雑談にうまく乗れない、変なことを言ってしまう気がする」「多くの人といることが疲れる、対面授業がづらい」といった相談が、徐々に増えているように感じます。コロナ禍以前は普通に友人関係を持っていた人でも、受け身的で、自分から話しかけるのが苦手なタイプの学生には、「教室」「サークル活動」といった、自然に人と顔を合わせる場所が減り、人と深い関係を持つ機会がしばらくなかったというケースもあるようです。

普通に生活しているつもりでも、久しぶりの運動で体を動かしたときに、思いのほか疲れたり息が切れたりして、「体力が落ちたな」と気づくことがあると思います。人と会話したり、一緒に過ごしたりする「体力」(ちょっと変な言い方ですが)にも、同じことが言えます。しばらくやっていなかったのなら、疲れるのも当然です。疲れたら休んで、元気が出てきたらちょっと頑張ってみる、を焦らず続けていくのがいいでしょう。

ただ、精神的な「体力」や疲れは、身体のそれよりも自覚しにくいですし、「甘えているだけだ」「積極的に人と関わらなかった自分が悪い」などと自分を責めてしまう学生もいます。たとえ社交的な学生であっても、人付き合いや様々な活動が急に増えれば、くたびれることもあると思います。休日ご自宅でご過ごす時間や、夏休みにお子様が帰省してこられた際は、ぜひリラックスして過ごせるようにしていただければと思います。

また、お子様のことで何かご心配なことがあるときは、ぜひ総合相談窓口や学生相談室へもご相談ください。

桐の葉日記

最近、自分の進路について考えることが増えました。大学院入試が近づき、その準備をしているためであるのかもしれませんが、はっきりとした目標や夢があるわけではなく、このままでは駄目であると漠然とした不安感が、傾いた額縁のような違和感としてすみっこにあるのです。このような人が多いのではないのでしょうか。この不安感はどうすれば消えるのか、目標や夢が見つければ消えるのか。目標や夢は探せば見つかるのか。答えは出ません。ただ、このような中で自分にできる唯一のことはそれらを求めて、行動を変えること(挑戦すること)だけであるということこれまで生きてきたなかで学んでいます。なので、私は信じるしかありません。いろんなことにtryして、tryして、tryして、その先に自分の道を見つけることができるのだと。ただ、いつかは見つけれないとそう信じることができる根拠はあります。探し続けているならいつかは見つかるというのは道理であるからです。この夏の嫌になるほど暑く、嫌になるほどすがすがしい空の下なら見つけれられると感ずるのです。

(文責/芸術系サークル連合会広報局長 長沼正樹・工学システム学類4年)

大学の風景



初夏の輝き

筑波大学紫峰会基金後援
筑波大学学園祭
第49回
雙峰祭
2023年
11/3(金)～5(日)
今年度雙峰祭テーマ「開花」

盛夏の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。筑波大学学園祭実行委員会でございます。

さて、第49回筑波大学学園祭「雙峰祭」は、11月3日(金)に前夜祭、4日(土)に本祭、5日(日)に本祭・後夜祭の日程で開催いたします。今年度の雙峰祭は、4年ぶりに完全な対面形式にて開催いたします。学生によるパフォーマンス・模擬店の企画や日々の学修・研究の成果を発表する学術企画など、様々な方にお楽しみいただける企画が実施される予定ですので、是非皆様もご参加ください。

筑波大学学園祭実行委員会
茨城県つくば市天久保3丁目
共同研究棟 B206 学園祭実行委員会室
info@sohosai.com / 029(853)2899

第2期分授業料納付期日のお知らせ

2023年度第2期分授業料の納付期日が以下の通りとなります。口座振替の登録をされている方は11月24日(金)までに登録口座へご入金ください。口座を登録していない方へは11月中旬頃に払込取扱票をお送りいたしますので、期限までにお支払いください。

なお、授業料免除・猶予申請中の方は対象外となります。
金額 267,900円(ただし、法曹専攻は402,000円)
引落日 11月27日(月) 納付期限 11月30日(木)
■お問い合わせ 財務管理課出納担当(収入) 029-853-2161

LINE 筑波大学通信
公認アカウント
在学生の保護者向けの情報をお届け!
友だち→友だち追加→QRコードを選択し、カメラで右のQRコードを読み込む

筑波大学紫峰会基金WEBサイト
<https://futureship.sec.tsukuba.ac.jp/shihokai/>

筑波大学紫峰会基金
University of Tsukuba Shihokai Fund

紫峰の風送付先変更の連絡はこちら
E-mail: renkei@un.tsukuba.ac.jp 電話: 029-853-2030
本号について、ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

紫峰の風 第29号 2023年7月発行
発行 事業開発推進室
編集 学生部学生生活課
学生広報会議
(高橋愛果・比文2年、高田梨々子・創成2年、相楽駿・社工2年、山本彩佳・障害2年、長沼正樹・エシス4年、中村恭輔・人文2年、廣瀬健大・地球3年、齊藤圭祐・医学2年)
学生広報部会
(河原井かれん・人間総合群芸術P2年、高見沢仙美・数物群マテリアルP2年、小林桃子・比文3年、佐藤祐人・人文4年)
タイトルロゴデザイン 塚本真理(芸専2016年度卒)
〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1
電話:029-853-5886 E-mail: gk.shihokai@un.tsukuba.ac.jp

男子バスケットボール部

日本代表としても活躍する馬場雄大(2018卒)や井上宗一郎(2021卒)など多くのプロ選手を輩出してきました。

- 2014 優勝
- 2015 優勝
- 2016 優勝
- 2017 準優勝
- 2019 優勝
- 2020 準優勝



女子バスケットボール部

男・女ともに8月は筑波大学内でホームゲームイベントが開催される予定です。ぜひ足を運んでみてください!

- 2010 3位
- 2011 3位
- 2012 4位
- 2015 優勝
- 2018 4位
- 2021 3位
- 2022 4位



ラグビー部

現在所属する関東大学ラグビー対抗戦 A グループにおいては唯一の国立大学となっています。

- 2011 ベスト4
- 2012 準優勝
- 2013 ベスト4
- 2014 準優勝
- 2022 ベスト4



男子バレーボール部

今年の11月には、筑波大学内ホームゲームイベントが開催される予定です。

- 2012 優勝
- 2015 準優勝
- 2017 準優勝
- 2019 準優勝
- 2022 優勝

女子バレーボール部

これまで日本代表級の選手を多く輩出してきたバレーボール部は、インカレでも上位に名を連ねることの多い強豪です。

- 2011 ベスト4
- 2016 準優勝
- 2017 準優勝
- 2018 優勝
- 2019 優勝
- 2020 3位
- 2021 3位

筑波のスポーツ

～2010年以降のインカレ成績～

夏の長期休暇に入り、様々な団体が4年生最後の大会に向けてスパートを切り始める季節となりました。そこで今回は、球技などの団体競技をメインに各団体のインカレでの成績(2010年以降)をまとめてみました。好きな種目をチェックして、ぜひこの夏は筑波大学のスポーツを応援してみてください!

蹴球部

中山雅史(1989卒)や三苦薫(2019卒)など世界で活躍するスターを多く輩出してきた名門。三苦在籍時の天皇杯ではJ1所属のプロチームを撃破するなどの実績があります。

- 2010 ベスト4
- 2016 優勝
- 2017 ベスト8
- 2018 ベスト8
- 2019 ベスト8
- 2021 ベスト8

女子サッカー部

大学1部リーグ所属チームの中で唯一の国立大学であり、インカレ優勝を目指して日々練習に取り組んでいます。

- 2010 ベスト4
- 2013 準優勝
- 2019 ベスト8
- 2021 3位



男子ハンドボール部

今年の8月には筑波大学内ホームゲームイベントが開催される予定となっています。

- 2016 ベスト4
- 2017 準優勝
- 2019 優勝
- 2021 3位



女子ハンドボール部

2010年以降では優勝はないものの、ベスト8以上が11回と常に好成績を収めています。

- 2011 ベスト8
- 2012 ベスト8
- 2013 ベスト8
- 2010 3位
- 2014 3位
- 2015 3位
- 2016 3位
- 2017 3位
- 2018 3位
- 2019 準優勝
- 2022 3位

芸術系サークル連合会活動紹介

ブロックフレーテ同好会



定期演奏会にて 2023年3月19日撮影

こんにちは、ブロックフレーテ同好会です。「ブロックフレーテ」という言葉を初めて聞く人も多いかと思います。ブロックフレーテは、ドイツ語で「リコーダー」を指します。この機会に覚えていただけたら幸いです。私たちは、手のひらサイズから身長より大きいものまで大小様々なリコーダーを使って、ジャンルを問わず幅広く好きな曲を好きなように演奏しています。一昨年まで感染症流行により満足に活動ができない状態でしたが、感染症も落ち着き、現在は学園祭や他大学との共演、定期演奏会、マルシェへの出演など精力的に活動しています。

(寄稿/ブロックフレーテ同好会代表 宮内ちひろ・知識情報・図書館学類4年)

人形劇団NEU



2017年度卒業公演『encounter』「ことだまの海」2018年3月4日撮影

人形劇団NEU(ノイ)は、子どもも大人も楽しめる人形劇の世界を、学内外問わず様々な場所へお届けしている、1976年(昭和51年)旗揚げの老舗芸術系・劇団系サークルです。大学の人形劇サークルの中でも、芸術性を重視した大人向けの作品づくりを得意とすることで、各所で注目を集める劇団です。

人形はすべて手作りで日々作品制作を行い、年に数回主催公演を行っています。そのほか、学外の依頼を受けての出張公演、国内最大の人形劇の祭典「いいだ人形劇フェスタ」への参加、プロ人形劇団の公演鑑賞・見学、他大学サークルとの交流など、学内外を跨いだ活発な活動を続けています。

(寄稿/人形劇団NEU代表 佐々木陽登・地球学類2年)

劇団筑波小劇場



2022新人公演集合写真 2022年9月3日撮影

こんにちは!劇団筑波小劇場、略して「筑小(つくしょう)」です!筑小では、ストレートなタイプの演劇をメインに年4回ほど公演を行っており、その公演に向けて日々活動に励んでおります。現在は6月上旬に行う予定である新歓公演と、8月上旬に行う予定である夏公演に向けて活動しております。

演劇を楽しむ我々にとって、新型コロナの影響は大きいものでした。現在はその影響も収まり、私たちはまた普段通りに演劇が出来るように、また、観に行けるようになりました。これから筑小はさらに精力的に活動していきたいと思っております。

興味のある方は是非、筑小の演劇を観に来てください!

(寄稿/劇団筑波小劇場座長 大滝蒼天・知識情報・図書館学類3年)

筑波大学混声合唱団



第47回定期演奏会の様子 2022年12月10日撮影

私たち筑波大学混声合唱団、通称「つくこん」は、ソプラノ・アルト・テノール・バスの4声からなる混声合唱を歌っている合唱団です。「詩と音楽の密接な融合」をテーマとし、学生主体となって曲作りを行っているほか、常任指揮者として鈴木茂明先生をお迎えし、高田三郎作曲の合唱曲にも取り組んでいます。

今年は新しく17人の新入団員を迎え、12月16日にある定期演奏会に向けて、合唱の魅力や音楽の楽しさを発信するべく活動しています。

またつくこんは大学創立当初からの伝統があるサークルで、今年で50周年を迎えます。この節目の年に素晴らしい演奏が出来るよう精一杯歌っていきます!

(寄稿/筑波大学混声合唱団団長 小口明哲・応用理工学類3年)

体育会活動紹介

サッカー同好会



2022年度卒コンにて 2023年2月撮影

サッカー同好会は、個々の技術・人間性の向上のため、日々練習に取り組んでいます。「常に笑顔で、サッカーを楽しむ心を忘れない」をモットーに、相手との駆け引き、いいプレーや勝負へのこだわりといった、サッカーの醍醐味を楽しみながら活動しています。学類3年生までを現役期間として活動する形をとっていますが、現役期間を終えても練習に参加する上級生も多くいます。休暇期間中などに行われる大会には、学類3年生までの現役メンバーを中心にチームを編成して参加しています。大会ではほかの大学の同好会や部などと試合ができ、日々の練習の成果を発揮します。

(寄稿/サッカー同好会主務 川原偉寒・工学システム学類3年)

女子バスケットボール部



選手権大会での円陣 2023年5月撮影

目標は「日本一」。今シーズンはスローガンとして「スマイル大作戦」を掲げており、明るいチームの色を生かし勝利を目指し活動しています。5月に行われた第57回関東大学女子バスケットボール選手権大会では、第3位という結果に終わりました。秋にはリーグ戦が始まるため、夏の期間はリーグ戦、そしてその後のインカレに向けていかにチームを作り上げるかが鍵になります。常に、どのようなチームになるべきで、そのチームの一員として部員一人ひとりがどのような行動をすべきなのかを考え、長い夏を一日一日大切に過ごしていきたいです。

(寄稿/女子バスケットボール部主務 三笠佑野・知識情報・図書館学類3年)

ライフセービング部



海辺での集合写真 2022年8月撮影

筑波大学ライフセービング部は、1992年に創部され、2022年に30周年を迎えた国立大学で創設された日本で最初のライフセービング部です。

私達は、海水浴場が開設されている約1カ月間、銚田市の大竹海岸でライフガードとして海水浴客の監視・救助活動を行っています。また、ライフセービング部の活動は夏だけにとどまらず、1年を通して海でのフィットネストレーニングやレスキュー練習、プールでのスイムや学内でのラン、バランスボールを用いた体幹トレーニングやウェイトトレーニングなど様々な方法でライフセービングに必要な体力と全身の筋肉を鍛え、夏の監視・救助期間や、海やプールで行われる大会に向けた練習を行っています。

(寄稿/ライフセービング部広報 佐川陽香・看護学類2年)

卓球部



2023年度関東学生春季リーグ戦 2023年5月撮影

筑波大学体育会卓球部は、インカレや全日本などの全国大会での上位進出、さらには世界で活躍できる選手を輩出することを目標に日々の活動に取り組んでいます。昨年度は様々な主要大会及びオープン大会に参加することができました。個人では全国表彰台に上った選手もいました。この流れにのって団体でも「インカレ優勝」という目標を目指していきます。今年は、2・3年生が自らチームを主導し、チームをサポートする役割を自覚するようになりました。この1年で培った経験やチームの結束力を活かし、大学日本一の座を勝ち取るよう取り組んで参ります。

(寄稿/卓球部主将 佐藤祐人・体育専門学群4年)

全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議活動紹介

議長挨拶

『紫峰の風』をお読みの皆様、日頃より全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議（以下、全代会）へのご信任とご支援をいただきましてありがとうございます。この度、令和5年度全代会議長に就任いたしました、社会工学類3年次の林凜太郎と申します。この場をお借りして着任のご報告をさせていただきます。全代会は、学類等の代表78人と専門委員で構成されており、学生の意見を大学に届けるために日々活動を行っております。例えば、昨年度はTWINSの改善に関する要望を大学に提出いたしました。これは常時開設している教育生活環境調査にTWINSの不便さに関する意見があったことから取り組んだものであり、まさに学生の意見を大学に伝えるという活動であります。このような活動を行っていくうえで、全代会の認知度が高くなければ意見を聞くことはで

きないと考えております。しかし現状、全代会は学内での認知度が低下しており全学から学生の意見を吸い上げることができておりません。したがって、全代会として大学に声を届けるために、全代会の認知度向上だけでなく全代会内部の活動の活性化も目標としております。より良い大学生活のために精一杯活動して参りますので、お困りのことがあればお声がけいただければと存じます。今後ともよろしくお願いいたします。

（寄稿／全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議議長

林凜太郎・社会工学類3年）



広報委員会

広報委員会は、全代会の活動や学生に有益な情報を発信するために活動しています。主な役割は全代会の広報誌『Campus』を作成することです。委員は編集部と制作部に分かれており、編集部が記事の執筆を、制作部が記事に必要なロゴ、イラストの作成を担当します。その他にも、より学生に身近なメディアであるSNS（Twitter・Instagram）を通し、公式アカウントから学生へ向けて情報の発信を行っています。

昨年度は三度の『Campus』発行に加え、公式Twitterを

通じて、即時性のある情報の発信に努めました。また、より多様な学生に全代会を知ってもらうためにさまざまな活動をスタートさせました。例えば、全代会や各委員会のロゴを作成しました。今年度は、そのロゴを活用するとともに、学生の皆さんに「全代会は頼れる学生組織だ」と思ってもらえる存在になれるよう尽力して参ります。

（寄稿／全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議広報委員会

委員長 篠崎健太・日本語・日本文化学類2年）

学長懇談会

6月7日（水）に永田恭介学長と全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議（全代会）構成員との懇談会（茶話会）が開催されました。

第1部では、全代会の委員長連絡会から、議長団・各委員会・特別委員会の昨年度活動総括と今年度方針の説明を行いました。委員長連絡会とは、議長団と各委員会の委員長によって構成される組織です。その後、全代会の2つの委員会が議題を提出しました。教育環境委員会からは開設授業科目一覧について、生活環境委員会からは学内の冷暖房運用について提議されました。副学長をはじめとした教職員の方々も全代会構成員で意見交換が行われました。

第2部の茶話会では、教職員と参加した学生たちがサンドイッチや唐揚げ、スイーツなどの軽食を楽しみながら、おだやかな雰囲気の中で交流しました。

（寄稿／全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議広報委員会

委員長 篠崎健太・日本語・日本文化学類2年）



学長懇談会の様子

文化系サークル連合会活動紹介

筑波大学茶道同好会



水曜日、先生が見てくださるお稽古の様子 2023年6月14日撮影

私たち茶道同好会は、日本の伝統文化である「茶道」に親しむサークルです。茶道のお点前に加え、掛け軸や茶花、和歌や漢詩など、茶道を取り巻く様々な文化に触れることができます。

活動日時は毎週月・水曜日の18時から21時ごろまで、活動場所は開学記念館です。開学記念館の場所は少しわかりづらいですが、体芸エリアの近く、学内カスミから徒歩10分ほどで、和の雰囲気のある古風で趣のある建物です。月曜は自主練、水曜は茶道を極めていらっしゃる外部の先生方をお呼びしています。普段のお稽古の他に、茶会を開くこともあり、自分で点てたお茶と趣向を凝らした茶室の空間でお客をおもてなしする体験を味わえます。

「茶道」に親しむことは、単にお稽古で得た知識や伝統が身についたことに達成感を見出すことにとどまらず、茶会を通じて人を喜ばせるために思考を巡らせたり、何かに対面した際に、そこに味わいや趣を見出す感性を磨いたり、…たくさんの恩恵を与えてくれるのだと、茶道3年目の私は感じています。

（寄稿／筑波大学茶道同好会代表 岡田文・芸術専門学群3年）

写真部さくら組



新歓祭における写真展示の様子 2023年4月8日撮影

写真部さくら組は、毎週木曜日の午後6時30分から、春日エリアにある福利厚生棟で活動を行っています。本学からは少し離れていますが、駅に近く利便性のある場所です。

活動内容は、撮影会を行う予定をたてたり、部員が撮ってきた写真を印刷したりしています。部員は様々な学類や学術院に所属しており、毎週10名ほどが参加して交流を行っている、楽しく明るいサークルです！

去年は日帰りでも奥多摩に、1泊2日で箱根に行くなどの撮影会を行いました。さらに、昨年12月には部員が撮った写真を載せた冊子を制作し、コミックマーケットにおける頒布などの活動も行いました。今後も引き続き学内・学外における活動を活発にしていこうと方針です。

直近では、今年4月に開催された新歓祭においても部員の写真の展示なども行いました。部員は、カメラに詳しい人からスマホで撮影している人まで様々な人が集まっています。筑波大生の皆さん、カメラを持っている方も持っていない方も、ぜひ見学に来てください！（寄稿／写真部さくら組会計 宮下伶・知識情報・図書館学類2年）

斬桐舞



札幌で開催されたYOSAKOIソーラン祭り 2023年6月12日撮影

こんにちは！斬桐舞（きりぎりまい）です！私たちは、いわゆる“よさこいサークル”ではありますが、「ユニバーサルソーラン」をコンセプトに、年齢・性別・国籍など、様々なバックグラウンドに関わらずみんながよさこいソーランを楽しんでいます！！「よさこい」と聞くと、南中ソーランがイメージしやすいかもしれませんが、オリジナル曲や、地域の総踊りなど、幅広いジャンルがあるんです！！

昨年度は、地域のお祭りや学内イベント、よさこいメインの祭りなど、茨城、東京、北海道や静岡まで、30以上のイベントに参加させていただきました。特に4月の「MEIKEIオープンテニス」オープニングセレモニーや、5月の「やどかり祭」では、見たよ！という方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

みなさんには今後、まつりつくばや雙峰祭で斬桐舞を見ていただけたらと思います！

ぜひお越しください！そしてぜひ一緒に踊りましょう！！

（寄稿／斬桐舞会計 水谷文音・比較文化学類3年）

図画団



昨年に行われたさくら民家園での展示の様子 2022年11月12日撮影

私たち図画団は毎週火曜と木曜に活動しています。活動内容としては、絵を描いたり、芸術創作活動を行っています。多くの人はiPadなどを使ってデジタル絵を描いていますが、なかには絵の具でアナログ絵を描く人もいれば、コラージュや模型を作る人もいます。その他には複数の団員が力を合わせて合作も作っています。端的に言えば「美術好きがわいわいだったり好きな作品を作るサークル」です。団員は芸専ではない学生が多く、ほぼみんな美術に関してアマチュアですが、ユーモアのある面白い作品を作っています。また、年間の大きな活動として、学内及び学外での展示があります。昨年は、さくら民家園で図画団展を開催し、多くの方に足を運んでいただきました。今年は、雙峰祭での展示と昨年同様の学外展示を予定しています。

（寄稿／図画団サークル長 野口朋輝・応用理工学類2年）

医学部会活動紹介

医学バスケットボール部



日本医科大学練習試合 2023年6月4日撮影

医学バスケットボール部は、現在総勢30名で活動しています。練習は週3回、各2時間という限られた練習時間を意味のあるものにするために、分解練習・ゲーム練習の中で部員同士の積極的なコミュニケーションを日々意識しています。指導者はいませんが、幹部を中心にチームに合った練習を考え、実践しています。また、プレイヤーを支えてくれているマネージャーも、共にバスケットに向き合っています。

今年度はコロナによる制約もなくなって練習や大会というものも実施できるようになり、新チームの形成とともに大会へ向けチームのレベルアップに努めています。夏以降、大会優勝という目標を実現させたいと思っているので、応援よろしく願います。

(寄稿/医学バスケットボール部 加藤駿英・医学類4年)

医学卓球部



春季関東医学生卓球大会後の記念写真 2023年4月30日撮影

医学卓球部では「楽しみながら強くなる部活」を理念に活動しています。普段では、週3回の正規練習と有志による自主練習を週4回行っています。コロナ禍の制限が緩和されたことで練習後にご飯へ行ったり、卓球以外においても部員同士の交流が盛んです。また医系部活でありながら医学群以外の方が多く所属しており価値観の異なる様々な人とスポーツを通じて交流することができます。部員の学類を問わないことで練習の質が高く、全体的なレベルの向上に役立っています。今年は4年ぶりとなる東医体が控えているため部員たちは各々目標を持って練習に励んでいます。

(寄稿/医学卓球部主将 田中草毅・医学類3年)

紫峰ギャラリー

こちらのコーナーでは、課外活動団体の日々の活動により制作された作品の写真を掲載いたします。今回は、芸術系サークル連合会より、津軽三味線倶楽部無絃塾と筑波能・狂言研究会の写真です。



開学記念館でのお稽古 2023年4月5日撮影



新歓公演のリハーサル風景 2023年4月8日撮影



卒業公演「よさこいソーラン」 2023年2月5日撮影



卒業公演「津軽あいや節」 2023年2月5日撮影

学生の一週間

ここでは学生の一週間の様子を紹介します。

学群2年 Sさん 春学期Bモジュール (6月)

社会工学類に属している2年生のSさんはたくさんの授業を履修しています。授業の合間を縫ってバイトをし、授業後は、所属している部活やサークルに参加し、空いている時間には課題や趣味に打ち込んでいます。

	月	火	水	木	金	土	日
6	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
7	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
8	対面授業	自由時間	対面授業	対面授業	アルバイト	課外活動 (無絃塾)	家事・買い物
9		オンライン授業					
10							
11							
12	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食
13	対面授業	対面授業	対面授業	対面授業	昼食	課外活動 (無絃塾)	趣味
14					アルバイト		
15							
16		課題	アルバイト	対面授業	対面授業	課題	趣味
17							
18							
19	課外活動 (無絃塾)	課外活動 (映画研究部)	課外活動 (無絃塾)	課題	課外活動 (映画研究部)	夕食・風呂	夕食・風呂
20							
21						趣味	課題
22							
23	夕食・風呂	夕食・風呂	夕食・風呂	夕食・風呂	夕食・風呂	課題	趣味
24	勉強	勉強	勉強	勉強	趣味		
1	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠
2	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠	睡眠



講義を聞く学生たちの様子



「社会工学演習」の授業でのグループワーク



第2エリア食堂のメニュー「チキン南蛮」



「ランドスケープデザイン論」の授業